

【吉岡町】
校務 DX 計画

1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

【現状】

町教育委員会事務局と町立学校 3 校の連携において、できるところから部分的にデジタル化を進めている。
町立学校においては、学校内でのデジタル化が全国トップクラスの校務 DX が進んでいる。
町教育委員会事務局は、各室によって差異があり、自治体の規定等により、校務 DX は限られた内容になっている。

【課題】

「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」令和 6 年 12 月公表結果から、下記のことが今後進めるべき具体的な内容である。

- ☐ 学校との各種事務手続きをペーパーレス化する
- ☐ 学校で取り扱う書類の中で、可能な限り教育委員会から押印を廃止する
- ☐ 町教育委員会の指導主事に GIGA 端末を支給する
- ☐ 町教育委員会に学校と同様のクラウド環境を整備する
- ☐ 自治体の文書管理規程等で、教育に関わる公文書のデジタル化に関する規程を定める
- ☐ 町教育委員会主催の研修をハイブリッド(対面・オンライン)で実施する
- ☐ 町教育委員会主催の研修について、オンデマンド視聴を取り入れる
- ☐ 町教育委員会主催の研修について、資料をクラウド上にアップロードしいつでも参照できる環境にする

2. 校務 DX を推進するための課題解決策

1. に記述の【課題】を一つ一つ進め、部分最適な DX 化から、全体最適な校務 DX を進め、誰にとっても便利な DX を進める。

3. 次世代校務 DX 環境の整備について

物理的な環境を継続的かつ計画的にアップデートするとともに、DX 化をリードする人材育成を進める。